【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公開番号】特開2006-74456(P2006-74456A)
【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)
【年通号数】公開・登録公報2006-011
【出願番号】特願2004-255588(P2004-255588)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/46　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　1/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/46
Ｈ０４Ｂ　1/16　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月3日(2007.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
デジタルデータ受信機であって、
第１受信データから第１映像データを生成する第１映像データ生成部と、
第２受信データから前記第１映像データより映像サイズの小さい第２映像データを生成する第２映像データ生成部と、
前記第１受信データの受信状態を示す受信状態検出信号を発生する信号発生部と、
前記受信状態検出信号に応じて前記第１映像データと前記第２映像データの切換えを行う映像切換部と、
前記映像切換部が前記第１映像データから前記第２映像データに切換えた場合に、前記第２映像データの映像サイズを変更するサイズ変更部と、
を有することを特徴とするデジタルデータ受信機。
【請求項２】
さらに、前記第１映像データを表示するための表示部を有し、
前記サイズ変更部は、前記表示部に合わせて前記第２映像データの映像サイズを変更する、請求項１に記載のデジタルデータ受信機。
【請求項３】
前記サイズ変更部は、前記受信状態検出信号による受信状態に応じて、前記第２映像データの映像サイズの変更倍率を可変する、請求項１に記載のデジタルデータ受信機。
【請求項４】
前記サイズ変更部は、前記受信状態検出信号による受信状態に応じて、前記第２映像データの映像サイズの変更を行うためのデータ補間方法を選択する、請求項１に記載のデジタルデータ受信機。
【請求項５】
さらに、前記第２映像データによる放送内容を取得するための放送内容取得部を有し、
前記サイズ変更部は、前記放送内容に応じて、前記第２映像データの映像サイズの変更を行うためのデータ補間方法を選択する、請求項１に記載のデジタルデータ受信機。
【請求項６】

さらに、データ補間方法設定部を有し、
前記サイズ変更部は、前記データ補間方法設定部によって設定されたデータ補間方法を用いて、前記第２映像データの映像サイズの変更を行う、請求項１に記載のデジタルデータ受信機。
【請求項７】
さらに、前記第１映像データ中に含まれるフレーム画像と前記第２映像データ中に含まれるフレーム画像との相関を取るための相関部を有し、
前記映像切換部は、前記第１映像データ中に含まれるフレーム画像から、前記フレーム画像と最も相関を有する前記第２映像データ中に含まれるフレーム画像へ、映像の切換えを行う、請求項１～６の何れか一項に記載のデジタルデータ受信機。
【請求項８】
さらに、前記第２映像データに対応した音声データを生成するための音声データ生成部と、
前記映像切換部が、前記第１映像データ中に含まれるフレーム画像から、前記フレーム画像と最も相関を有する前記第２映像データ中に含まれるフレーム画像へ、映像の切換えを行う際に、前記第２映像データへの映像切換えに応じて、前記音声データを遅延させる制御部と、
をさらに有する、請求項７に記載のデジタルデータ受信機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記課題を解決するために、本発明に係るデジタルデータ受信機は、第１受信データから第１映像データを生成する第１映像データ生成部と、第２受信データから第１映像データより映像サイズの小さい第２映像データを生成する第２映像データ生成部と、第１受信データの受信状態を示す受信状態検出信号を発生する信号発生部と、受信状態検出信号に応じて第１映像データと第２映像データの切換えを行う映像切換部と、映像切換部が第１映像データから第２映像データに切換えた場合に第２映像データの映像サイズを変更するサイズ変更部と、を有することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、本発明に係るデジタルデータ受信機では、第１映像データを表示するための表示部を有し、サイズ変更部は、表示部に合わせて前記第２映像データの映像サイズを変更することが好ましい。映像サイズの異なるモバイル放送データを表示部に合わせて拡大することによって、視聴者に違和感を与えることなく、放送データの切換えを行えるように構成したものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
さらに、本発明に係るデジタルデータ受信機では、データ補間方法設定部を有し、サイズ変更部は、データ補間方法設定部によって設定されたデータ補間方法を用いて、第２映

像データの映像サイズの変更を行うことが好ましい。ユーザの好みに応じたデータ補間方法によって、映像データの拡大を行うようにしたものである。